

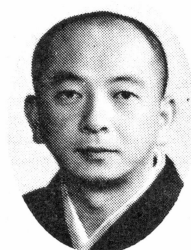


第 35 号

発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗宗務庁内
編集 全国曹洞宗青年会
発行 全国曹洞宗青年会
TEL. 03-454-5411代

価値ある事業展開

全曹青会長 桜井孝順



這えば立て、立てば歩めの親心。

この度、全国曹洞宗青年会が創立十周年を迎えるにあたり、この間全国各地の老尊宿より叱咤激励され、財法両面にわたっての多大なる御支援を賜りましたこと、青年会を思う尊い親心の現れと衷心より感謝申し上げる次第であります。

十周年を記念しての特別事業も円滑に作業が進み、沖縄での親子洋上セミナーには各地より二百名の参加を得、素晴らしい夏休みの思い出を残しつつ無事円成いたしました。

した。

また「緑蔭説法・仏のものさしに生きる」と題した講演録は、地方曹青の集会における著名人十一師の講演を集録し、まもなく刊行される予定です。多くの経験を踏まえた各講師の、人間性が滲み出る講演内容は、活字を通して多くの方々の心に深くしみ込み、強い感動を与えることでしょう。

また今回のメイン事業であります石仏展は、各地方青年会のご協力を賜りながら、十月十二日より二週間、新宿小田急デパートにて開催されます。全国各地に点在する野ぼとけを一同に集めて開催するこの種の催しは、且つて例がないだけに、多くの関心と注目が寄せられています。規模、内容とも全曹青の記念事業にふさわしいもの

のと確信し、動員においても企画に恥じない多くの人々が足を運んでくれることを祈念しております。

石仏展の主催が読売新聞社、文化庁の後援ということで、曹洞宗としての立場が明確でないなどというご意見も賜りましたが、より多くの方々にご来場をいただくことを第一に企画を奨め、名を捨て実を求めたことにご理解を賜り度いと存じます。

当初より全曹青がめざしてきた「大衆教化の接点を求めて」のスローガンを、より身近なものにするための催しとして企画された本事業は、大衆性を深めた価値ある事業としての展開を広め、多くの人々の心に深く感銘を与えることを願っております。

正月やお盆でも故郷へ帰ること

のできない人々、野山を駆け巡りながら幼い時を過ごした人々が住む都会にあつて、石仏展は心の安らぎと郷愁を醸し出すことになるでしょう。

またふるさとを持たない人や、文明社会がすべてと思ひ込んでいる人たちには、長い間風雪に耐え路傍にたたずみ人間の栄枯盛衰を眺めてこられた石仏に、親しみを持つ機会を与えたいものです。

石仏展の入場券販売に関しましては、種々御迷惑お掛けすることになりましたが、東京周辺のみならず、全国各地の曹青会の方々にご協力をいただきましたことに心より厚く感謝申し上げます。

21世紀を目前にひかえ、現代の我が国を取り巻く社会状況は、めまぐるしい価値転換の様相を呈しています。

宗門における禅のつどい運動もこのような世相の中で、静寂という環境に恵まれた道場において、真のやすらぎと慈悲に満ちた宗侶の献身的な奉仕が、訪れる人に多くの暖かみを与えてきました。

禅のつどいや、記念事業を運営してきた青年宗侶のエネルギーを、檀家から町へ、町から県へ、単位曹青から日本へと活動を広め、明日の日本へ胸を張って提言できる情熱ある宗侶、集団となるよう励みたいものであります。

破草鞋

NHK報道特集の「核戦争後の地球」を見た。想像を絶する巨大な雲、無限の放射能の雨、数日間の後、冷えた切った地球上には生物は存在していない。

人類は命あるものとして、いつしか訪れる死を迎えなければならぬが、突然襲う特集番組のような惨禍を決してみとめるわけにはいかない。もしもそれが絶対あつてはいけなのである。

我々は二度の被爆で核戦争も含んで争いは繰りかえさないと誓ったはずである。だが、核や軍拡の大波の中で、いまでもそのようなことを認めるような、核シェルターの使用を進める人達がいることを非常に残念に思う。

高名な人が自分一人のために、シェルターを建設してみても、世の中はそう甘いものではない。

私達は、この危険な時に一人ひとりが何をみつめ、連帯の中でどう生きなければならないのか、真摯に考えるべきではないだろうか。それが人間としての責任であり、ひいては次の時代を救うモラルになると思うのだ。

宗教者は声を大にして平和のために全世界に訴えようではないか。(M)

＝10周年記念特別事業＝

ほほえみの石仏展

会期：昭和59年10月12日(金)⇒24日(水)

(10月17日(水)・18日(木)は休み)

会場：東京・小田急デパート新宿店<本館>11階

主催：読売新聞社

後援：文化庁 協力：(財)全日本仏教会・曹洞宗宗務庁・

大本山永平寺・大本山総持寺・(財)全国青少年教化協議会

企画：全国曹洞宗青年会

入場料：一般600円・学生300円

この笑みは、野の仏に



少林寺の羅漢

埼玉県大里郡寄居町末野 少林寺
経巻を奉納し、呵呵大笑する、五百羅漢のうちの一。

全国より野仏たちをお借りし、羅漢、釈迦如来を中心に据えて、一堂に展観いたしました。さらに、子育て地藏・水子地藏を配置し、お祈りし、供養できるコーナーも設けました。

よく道端でお会いするお地藏さまや、山路を歩いて出会う石の仏さまたちが、深い微笑をたたいて何か話しかけておられます。また、五百羅漢のように、ユーモラスなお顔の中で慈悲をなげかけて下さる仏さまもあります。

ふるさとの野に、鎮座します仏さまが大会で目にされたものは何だったのでしょうか。目まぐるしく激しい社会、マッチ箱が立ち並ぶ街で、セカくと動きまわ

平素、全国曹洞宗青年会に御支援、御協力を賜り有難うございます。おかげさまで創立十周年をむかえることが出来ました。



馬頭観音

福島県南会津郡下郷町檜原 円福寺
馬を台座としている一面八臂の馬頭観世音。全国的に珍しい。

えて何か話しかけておられます。また、五百羅漢のように、ユーモラスなお顔の中で慈悲をなげかけて下さる仏さまもあります。

ふるさとの野に、鎮座します仏さまが大会で目にされたものは何だったのでしょうか。目まぐるしく激しい社会、マッチ箱が立ち並ぶ街で、セカくと動きまわ

る人々……。

全国各地から参集された野仏たちの、その素朴な姿と、慈愛にあふれた微笑みは、あわただしい日常の中でもすれば自己を見失ないがちな私たちに、大切なことを語りかけているようです。

風雪にさらされて数百年もの間、野に立ちつくす野仏たちは、日本人の信仰の支えでもあり、歴史であります。

老若男女、すべての日本人にとっての信仰の源泉でもある野仏の微笑みに触れ、その心をほのぼのと受けとめていただければと存じます。

尚、石仏展開期中におきましては、青年会員が会場にて御案内申し上げます。どうぞおさそい合わせのうえ、御来場賜りますようお願い申し上げます。

十周年を祝い

講演録

『緑蔭説法』の刊行を欣ぶ

駒沢大学総長 桜井秀雄

青年の知と力を結集し、人間育成と社会形成に奉仕しようという願いのもとに、結成された全国曹洞宗青年会が、ここに十歳を迎えたということは、まことに同慶の念に堪えない。

それがいかなる性格のものである、人間の世界において、ひとつの社会集団を形成するにあたって、いろいろな異見が交錯する中で、これを集約し、その焦点をしぼって大同団結するまでには、幾通りか紆余曲折を経ることは避け難いものといえよう。そして、宗旨に立脚した宗教活動においても、例外ではありえない。というのは、宗旨という根本義において異なるところがなくとも、具体的な活動の展開のための方法の論議ともなれば、必ずしも安易な妥協を許さない場合が多いからである。その場合、羅針盤ともなり、その方向づけのための助言となり、

時に研鑽のための問題提起ともなったものは、十一氏による地方集会での基調講演であったといえよう。しかも、集録された講述者が、仏道・芸道・学究において、その道の専門分野ごとの卓越した成果の保持者であるというよりは、その道において深く刻み込まれた年輪を重ねている人々であり、その説示は、たくまな善巧の妙言であり、無舌の公案とうけとめ心読して、初めて真義に触れることになろう。

その意味で、本書が集成されたということは、曹洞宗青年会の十年の軌跡を回顧するに、ふさわしい記念誌にとどまらず、未来に向かって創造の活路を見出す糧として活用すべきであろう。

ところで、原始出家集団が維持されてゆくために、戒律が中心であったことは当然のことであろう。したがって僧伽が形成される

には、それなりの持戒の約定がなされなければならなかったし、その前提として僧団に入るための発心・宗教的自覚と決意は、具体的な受戒という実践行を通じて堅固なものとなった。

なかで興味あることは、僧団での議決法ともいべき羯磨法である。いわゆる白四羯磨とか一白三羯磨とは、まず一回提案が告白されたあと、三度繰返し弁事して、全員が沈黙している時は、いわば黙認の円満議決となるという方法である。今日の甲論乙駁の喧騒な議事法とは比べものにならない。

いいたいことは、曹洞宗青年会が知と力を結集するに当って「智に働けば角が立つ」如きものであつてはならないし、ましてや他の成員の折伏のための力づくであつてもならないということである。けだし円転滑脱の智慧と、方正厳格な行動力に支えられ、加え

て仏祖の慈心に抱擁されているという確信の下に、結集した和合の威神力に對し、共に合掌しつつ、直下承当の道に精進されるよう希望しておきたい。記念すべき十周年を祝い、『講演録』の刊行を欣び、いささか婆心を添え、限らない隆昌を祈念してやみません。 至禱

《収録講演》

「大衆との接点を求めて」

松原 泰道

「笑いと人生」

三遊亭円楽

「食をみなおす」

中野 東禅

「本當の宗教とは何か」

ひろさちや

「これでいいのか食卓」

辻 嘉一

「葬祭の意味」

奈良 康明

「仏のもののさしに生きる」

青山 俊童

「一盤の中の緑の世界」

千 宗室

「日本人の仏教心」

無着 成恭

「素直な心が人生を開く」

松浦 英文

「こころ自由自在」

佐藤 俊明

《装丁》B6版二四八頁

《発行部数》三、〇〇〇冊

《頒価》一冊 一、五〇〇円

50冊以上1割引

100冊以上1割5分引

●送料は宗務庁頒価送料

——ご寺院の豊かな明日をクリエイトする——

私達の仕事は 寺院運営企画・建築・設計・営繕工事

境内・墓地清掃保守管理施工

寺院用品／焼却炉など環境用品販売

●あらゆる相談をお待ちしております！

見積無料 ☎(364)0671～3

法律・会計相談も行っております。

——日本寺院株式会社——

〒160 東京都新宿区百人町1-13-2

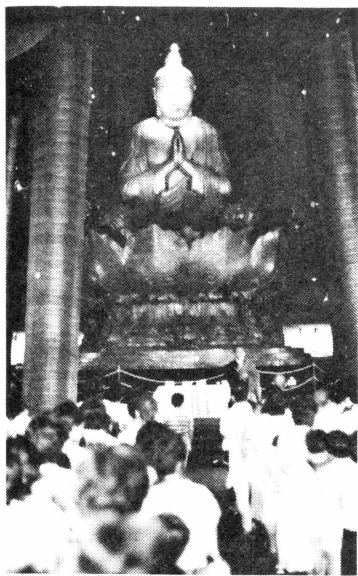
―沖縄洋上セミナー報告―

感銘与えた摩文仁ヶ丘の法要

八月二十二日、二十五日の間、三泊四日で行なわれた「めんそーれ。おきなわ」洋上親子セミナーは、二百余名の参加者があり、好天に恵まれ、また、曹青会員の献身的な指導により、一人のケガ人も落伍者もなく、多くの有意義な物心にわたる土産を満載して盛会裏に円成した。

洋上セミナー

台風一過の八月二十二日、五千



摩文仁ヶ丘 平和記念堂にて

八百トンの「飛竜二号」は、大阪南港を午後十一時出航、いよいよ三十四時間の船上での研修生活に入った。心配した船の揺れも少なく快適であるが、大型クレーラーの音には閉口する。

講師の無着成恭先生は子供向けに例の熱弁である。殊に質問の間は大いに関心が高まった。もう一人の講師の渡辺長武先生は東京オリンピックレスリングのゴールドメダリストである。子供達はその金メダルを一人ひとり手に取り、あるいは首に掛けて味わっていた。渡辺先生は体験を通しての

お話しで努力と云うことを強調された。

その他、ゲーム、船内見学、Tシャツプレゼント、サイン会、パーティ等々盛り沢山の行程ではあるが、なにしろ狭い船内で、それに限られた時間での行動であるから非常に苦勞であった。

また、このセミナーのテーマは『食について』であったが、船内の食堂は一度に七十名しか用意が出来ず、その上、一時間以内に三交替で終らせなければならぬ不便さであり、充分には尽くせなかった。入浴に至っては、一度に数名しか使えない風呂に、二時間以内に二百名を入れるのであるから、まさに至難の技であった。しかし、これらは全て、曹青会員の連携プレーによって無事に消化された。

沖縄の観光

沖縄上陸後は、バスに分乗しての観光ツアーである。青く美しい海。子供達はグラスボートに乗っ

て海中の魚を見て大きな喚声をあげたり、また、海洋公園では待望の海水浴を楽しみ、本場のパイナップルのプレゼントもあり、情緒も味ったのである。ホテルでのキャンプファイヤーでは、時間のたつのも忘れた様子で、実に生き生きとしていた。

摩文仁ヶ丘の法要

最終日、沖縄ツアーは南部戦跡めぐりである。摩文仁ヶ丘にある平和記念堂は、近代的な新しい建物で七・八百名が収容出来る大ホールである。我々はここで英霊並殉難者精霊に施餓鬼法要を行うことにした。

まず全員が献香をしての進前で始った。その時に突然「南無本師釈迦如来……」の聖号が発り、しだいに唱和してホールに満ちていったのである。この時より一同は厳肅になり、中には涙する者もいたのであった。このシーンに我々も強い印象と教訓を受けたのである。まさに「無言の説法」とでも云うのであろうか。

反省

「百聞は一見にしかず」の諺の如く、机上での論議を重ねても結論の出せないことは多い。今回のセミナーは好条件に恵まれ、多くの成果があったことは事実である

が、みじめな結果になってしまう可能性もあった。事前の調査は行うべきであった。

なにしろ船上でのセミナーであるから、天候に左右されることはやむをえないとしても、殊に「食」をテーマにしての研修であるから船酔いがあればそれどころではない。事実そのような者も何人かはいたのである。「坐禅」にしても、左右揺振をなくしてもむむ」とは云え、笑ってばかりではいられない。

しかし、この洋上セミナーの実践によって多くのことを学ぶことが出来た。さらに今回の反省点を含めて地区曹青でもこのようなセミナーを行って欲しい。

現に東海曹青では、来年度新たな洋上セミナーを企画し、二・三人の役員がすでに計画に入っていると云う。

また若き全曹青会員の徒弟達が僧侶にあこがれるよう、この如きセミナーを、たとえば全国規模の徒弟研修会等に活用出来ないかと、本庁に進言し、協力願いたいとの考えもあるようだ。いずれにしても実現出来ればさらに幸である。

「和尚さん、来年も連れて行って下さいね」の言葉が忘れられない。

予 告

研修委員会後期事業

昨年は、「食キャンペン」をテーマに、全国の三会場で、仏教セミナーに併せ禅のつどい研修会を開催し、好評を博して参りました。お蔭さまで、禅のつどいを開催する時、大変参考になったと、御連絡下さった会場もあります。今回は、昨年に引きつづき、セミナーを中心に各地禅のつどいの展開を共に語るとともに、今夏開催した「洋上セミナー」での坐禅・講話・ゲームなどを御紹介したいと存じます。

詳細につきましては、後日、各担当していただく青年会と協議をし御案内申し上げます。

研修委員長 安藤実英

☆会場案内

①西日本会場

日時 60年1月30・31日
会場 福岡博多 明光寺

②東日本会場

日時 60年3月上旬
会場 大雄山箱根別院
講師 阿部圭祐師
講師 心理学者を予定

③第三会場

交渉中につき決定次第お知らせします。

10周年特別事業「ほほえみの石仏展」

記念出版のご案内

カラー写真を満載！
あなたの身近な野の仏たちに会えます。

図録(写真集) ほほえみの石仏

B4判上製 136頁
頒価 2,000円
送料別

石仏のほほえみを檀信徒の方々に！

伝道ハガキセット

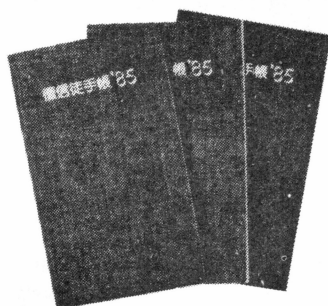
5枚組み 頒価 300円(送料共)

お申込み・お問い合わせ 全国曹洞宗青年会事務局

〒105 東京都港区芝2-5-2
曹洞宗宗務庁内 TEL 03-454-5411(代)

あなたのお寺と檀家を結ぶ大きな輪！

檀信徒手帳'85



日常生活にかかせない内容がいっぱい。

- 年間カレンダー（季節の言葉）
- 生活百科——家庭救急箱・旬の食物・時候の挨拶・冠婚葬祭とマナー等々。
- 生まれ年の護り本尊・テレホン法話開設一覧。
- 宗門仏教行持解説・曹洞宗の教えと信仰生活・参禅の仕方・簡単な日常のお経。
- 緊急連絡先、身分証明証、度量衡一覧。
- 宗門関係教育機関、年回早見表と供養のほとけさま記入欄、各寺名・住所記入欄。
- ◎ポケットサイズで、持ち運びに便利！！

活字は大きく。読みやすく。

価格1部 100円 150部以上10%割引

※送料は実費でいただきます。

お申込〆切 11月末日

※手帳の大きさは新書判（タテ175mm×ヨコ105mm）ポケットサイズ、中味は64P。表紙は明るいブルーに金文字のレーザータイプです。

●お申込み・お問い合わせは

〒105 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内。

全国曹洞宗青年会事務局 TEL 03-454-5411(代)

事務局だより

◎十周年記念事業

微笑仏展が、いよいよ近づきました。理事・評議員各位を通して入場券の販売配布が行なわれております。多数の方がご覧いただけますよう御協力お願い致します。

- 大人入場券 六百円
- 学生入場券 三百円
- ハガキ入場券六百円(これは、

第七回禅文化学林

天童寺拝登と桂林の旅

期日 昭和六十年二月十五日より
二十日まで

参加費 二五九、〇〇〇円

募集人員 七十名

申込み〆切日 十一月十五日

結成十周年の記念すべき年にあ

たり、第七回の禅文化学林をわが曹洞宗の御開山御修行の地である天童寺において開催し、じかに中国禅にふれていきたい。更に桂林を訪れ、山水画の幽幻の世界参究の旅を計画しています。



この企画に申込み参加者もかなり出てまいりました。人数にまだゆとりがありますので、会員はもとより、知人友人お誘い合わせのうえ御参加下さいますよう御案内いたします。

帳です。施本に、お正月用年始引物にとお申し込みをいただいております。一部百円ですが、部数が多くなりますと割引致します。

◎新執行部役員のご紹介

前回理事会において事務局に庶務を置くことが承認されました。新任に静岡県袋井市玄泉庵住職、村松延行君が就任。よろしく願います。

☆各地方集会の御案内

◎第九回東北地方集会

葬祭儀礼と会員親善ソフトボール大会

日時 11月1・2日

会場 岩手県 いこいの村

◎第八回関東地方集会

日時 11月2・3日

会場 千葉県

入会のご案内と会費納入のお願い

宗侶としての生甲斐を確かめ、心から話し合える場に参加しませんか。18才以上の宗侶は、誰れでも入会できます。40才までの方は、正会員。40才以上の方は賛助会員として参加していただきます。

会費は年額 一、〇〇〇円

賛助会員は一口 一、〇〇〇円です。

本年度も総会を開催し、会員各位のご協力により、事業計画にそってスタートいたしました。

前年度まで一三〇〇余名の会員

◎第二回四国地方集会

日時 11月10・11日

会場 今治市

◎第八回東海地方集会

日時 11月15・16日

会場 愛知県大山市

事務局日誌

7月2・3日 特別事業委員会

7月17・18日 特別事業委員会

7月26日 瀬戸内尼VS大護氏対談

8月2・3日 特別事業委員会

8月22・25日 洋上セミナー

8月30日 理事会・事業委員会

9月6日 特別事業委員会

9月13・14日 特別事業委員会

9月19日 大本山総持寺拝登

9月27・28日 特別事業委員会

広報委員会

10月3日 理事会

が登録されておりますが、会費未納の方が多数あります。どうか全曹青発展のため会費納入をお願いします。尚、地区単位曹青にてまとめて納入のときは、納入会員名を書き添えてお願いします。

又、事務局台帳の充実を期するため、振替用紙裏面かハガキ等にて生年月日、住所、寺院名、地区曹青役職等なるべく詳しく書き添えて、事務局宛にお送り下さい。

振替・東京一―三〇五三九番

寺院専門の書道用具店

その他中国美術工芸品

書 道 月

◎当店には塔婆専用に開発した非常に木に強い毛切れのしない筆があります。

静岡市新川2-9-31 TEL.0542-81-8005